

こ だ い ら

市議会だより



もちつき



書き初め



かるた取り



昔ながらの
お正月



12月定例会

平成22年度

一般会計補正予算

(第5号)などを可決

平成21年度各会計決算を認定

4月から二つの学童クラブへ指定管理者制度を導入

平成22年12月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間の会期で開催されました。

この定例会では、議員から提出された公立小・中学校冷房化に財政支援を求める意見書など5件の議案、及び市長から提出された平成22年度一般会計補正予算(第5号)、平成21年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定(詳細は2面に掲載)など41件の議案が原案のとおり可決、または認定されました。

なお、定例会最終日には1件の議員提出議案が委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。請願は常任委員会で審査され、2件のうち1件が採択、1件が継続審査となりました。

また、12月1日、2日、3日には、22人の議員から市政全般について66件の一般質問が行われました。



**議員の寄附行為や
時候のあいさつ状は禁止されています。**
議員は、選挙区内の人に、おみや物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いします。

結びに、本年も市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

今後も引き続き、市の将来都市像である「躍動をかたちに進化するまち こだいら」の実現を目指し、市民の皆様の一歩を踏み出すために、議員一同、全力を尽くしてまいります。

さらに、12月定例会からは本会議をインターネット録画配信(試行)でごらんいただけるようになりました。アクセス件数は1か月で約千8百件に上り、市議会がより皆様に身近なものになってきたとの評価をいただいております。本年3月定例会からの本格実施に向けてさらに改善を加えてまいります。

さて、今年4月に市議会議員選挙が行われます。任期も残りわずかとなりましたが、私たち28人の市議会議員は市民の皆様への責任を受け、日夜小平市民のために懸命に活動しております。

また、昨夏は記録的な猛暑という言葉のとおり大変な暑さが続きましたが、経済・雇用環境は依然として厳しい冷え込み状況が続いております。

小平市におきましては、市税が減収し6年ぶりに普通交付税の交付団体となるなど厳しい財政状況が続いております。市議会においても財政基盤の強化や地域産業の活性化、保育園待機児童の解消や高齢者の生活支援など喫緊の課題に対し積極的に議論を重ねていくところであります。また、地方分権の進展に合わせ、議会改革調査特別委員会を設置して、議会改革に向けた調査・研究を行うとともに、市民の皆様との意見交換会を開催しました。

人々を感動させました。この偉業は人の生き方に重ね合わせる部分が多々あり、決してあきらめない精神と勇気を我々に与え続けることでしょうか。



副議長 加藤 俊彦



議長 永田 政弘

新年明けましておめでとうございます。日ごろから市議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年は小惑星探査機「はやぶさ」が、たび重なる危機を乗り越えて奇跡の帰還をし、地球の起源を探る成果を持ち帰ったことは多くの

新しい年を迎えて